

宮嶋が見た事例、相談のあった事例から、規則を考えていきましょう。

【事例0618】

6回の裏・無死1・2塁、内野手がマウンドに集まった。3塁審が「3回目のタイムとの確認。3回目のタイムであるので自動的な投手交代を指示」。守備側監督は3回目タイムを了解し、投手を1塁へ、1塁手を投手に変更した。次打者が三振したところで、守備側監督が守備位置の変更を球審に通告。「1塁手を投手へ、投手を1塁へ。」交代しようとした投手が、投球練習を始めたところで、控え審判より投手変更の確認をした。

- (1) この投手を戻す守備位置の交代は認められるか？ その根拠は。
- (2) 認められない場合、投手が投球練習を始めてしまっているが、どう対処するか。

※では、当連盟においてのタイムに係る投手交代について確認しておきましょう。

- (1) 試合では、タイムは何回？ 延長に入ったら何回？ タイブレークに入ったら何回？

- (2-1) 守備側が3回目のタイムの場合は、自動交代となっている理由は？

- (2-2) 交代した投手への制約は？

- (3-1) 守備側が、同一イニング、同一投手へ2回目のタイムの場合の処置は

- (3-2) 交代した投手の制約は？

- (4-1) 通告のなかった投手はいつから実質的に交代となるか。

- (4-2) 投手が2塁にいる時に、攻守交代となった。投手はそのままマウンドに向かった。監督は投手交代をしようと球審に通告した。投手交代は認められるか？ 認められない状況とは？

※では、ここで投手の義務、交代について確認しておきましょう。

- (1-1) 先発投手の義務は

(例)後攻のチームが初回に打者一巡の猛攻で一挙7点。もう大丈夫だと判断した後攻の監督が1回裏の始まる前に投手交代を申告した。どう対処する？

- (2) 救援投手の義務は

- (3-1) 監督による交代通告のなかった控えの選手が、マウンドで投球練習を開始。対処は。

- (3-2) 監督による投手の交代通告があったが、別の選手がマウンドで投球練習を開始。2球投げたところで誤りに気が付いた。対処は。

- (4-1) 5回にA投手がマウンドに上がった。ヒットを打たれた後投球が不安定だったので、レフトの選手Bと入れ替わった。B選手もヒットを打たれたので、レフトのA選手と入れ替わった。次の打者でアウトを取ったところで、守備監督はまた投手とレフトを入れ代える通告をし、投球練習を始めた。この時守備側チームはベンチ入り選手20人を全て使っていた。どう対処するか。

- (4-2) 5回終了時にA投手であったが、6回が始まる時にA投手はライトに、ライトのB選手が投手に代わった。B投手は投球が乱れ四死球を出したので、A投手を戻し、B選手をライトにたが、A投手がヒットを打たれたところで、また監督が「B選手を投手に、A選手をライトに」と通告した。この時の対処は、

- (5-1) 3回に守備側チームは、A投手に代わり控えのD選手を投手に起用した。攻撃側チームから「D選手はオーダー表に載っていない登録外選手で、没収試合だ」と球審に確認にきた。対処は

(5-2) 5-1でD選手が投球練習を始めようとしたら、攻撃側チームから指摘があった。対処は。

(5-3) 5-1でD選手がオーダー表に載っていない選手だと両チームとも気が付かず試合は終了し、両チームの選手は整列をした時に、「D選手はオーダー表に載っていない選手だ」と指摘があった。対処は。

(6-1) 4回の表、守備側チームの監督が打者がAの時に守備タイムを取り、ベンチに戻ろうとファウルラインを超えたところで、球審に投手の交代を告げた。この時の対処は。

(6-2) 監督はベンチに戻ったが、ボールが3球続いたところで、守備タイムを求めた。この時の対処は。

【まとめ】 皆さんは、球審を務める時にメンバー表を持ち確認していますか。また、塁審の皆さんはタイムの回数、投手を確認していますか。